

## ライフサイエンス機器分析室ニュース No.101

### 新規導入・共焦点レーザー顕微鏡(インキュベーション機能付き)操作説明会開催のご案内

このたび当施設では、インキュベーション機能を有した共焦点レーザー走査型顕微鏡・FLUOVIEW FV1000-D (オリンパス) を新規に導入しました。つきましては、本装置の操作説明会を以下の日程で開催いたします。

日時:平成 22 年 4 月 26 日(月)~28 日(水)

内容と日程

<内容>

基礎編:基本的な画像取得の方法についての操作説明です。マルチカラー、スペクトルスキャンの方法から、3D 画像取得での画像取得等を行います。

応用編:培養装置を用いた画像取得、多点タイムラプス、FRET などの光刺激と画像取得を行います。

個別相談:画像取得方法についての個別の相談に対応します。1 名 30 分程度とします。

<日程>

4 月 26 日(月) 13:00~15:30 基礎編 16:00~18:30 基礎編

4 月 27 日(火) 9:00~11:30 基礎編 13:00~16:00 応用編 16:15~19:15 応用編

4 月 28 日(水) 9:00~12:00 応用編 13:00~個別相談

定員:各回 7 名程度

場所:霞総合研究棟 116 号室(ライフサイエンス機器分析室内)

操作説明会への参加をご希望の方は、4 月 19 日(月)までに添付の申し込み用紙をライフサイエンス機器分析室までご提出ください。なお、各研究室 1 名の参加と制限させていただきます。

ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

<申込み先・連絡先>

自然科学研究支援開発センター

ライフサイエンス機器分析室(担当:柿村)

霞総合研究棟 107 号室

内 線:6844 (082-257-1565)

e-mail:[acols@hiroshima-u.ac.jp](mailto:acols@hiroshima-u.ac.jp)

HP:<http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

追記:本施設を少しでもご利用いただき作成された論文には、「謝辞」に当施設利用の旨を記していただきたいと存じます(謝辞例文 This work was carried out at the Analysis Center of Life Science, Hiroshima University.) さらに、実績として役立たせていただくため、別冊 1 部(コピーでも可)を本施設にご提供いただければ幸いです

# <共焦点レーザー顕微鏡(インキュベーション機能付き)操作説明会参加申込書>

## 参加者情報

研究室等名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

アドレス \_\_\_\_\_

参加希望セミナーについて①～③をご記入ください。

①操作説明・基礎編 (参加希望順に番号をご記入ください)

参加希望 (希望順に番号をご 記入ください)	日時・内容
	4月26日(月) 13:00～15:30 基礎編
	4月26日(月) 16:00～18:30 基礎編
	4月27日(火) 9:00～11:30 基礎編

②操作説明・応用編 (参加希望順に番号をご記入ください)

参加希望 (希望順に番号をご 記入ください)	日時・内容
	4月27日(火) 13:00～16:00 応用編
	4月27日(火) 16:15～19:15 応用編
	4月28日(水) 9:00～12:00 応用編

②個別相談

参加を 希望する ・ 希望しない

相談内容の概要 : \_\_\_\_\_

希望時間がある場合は時間をご記入ください : \_\_\_\_\_

<申込み先・問い合わせ先>

自然科学研究支援開発センター

ライフサイエンス機器分析室(担当:柿村)

霞総合研究棟 107号室

内線:6844 (082-257-1565)

e-mail: [acols@hiroshima-u.ac.jp](mailto:acols@hiroshima-u.ac.jp)

# 共焦点レーザ走査型顕微鏡

## FLUOVIEW FV1000-D



FLUOVIEW FV1000-D は、固定標本や生細胞標本の多重蛍光染色標本を簡単かつ明るく撮像することが出来る、レーザ走査型顕微鏡です。ソフト上から操作が出来る電動ステージや、焦点を保持するための ZDC(Zドリフト補正機構)を組み合わせることで、長時間に渡る生細胞の共焦点観察も可能です。また広範囲に渡る詳細画像観察や貼り合せ画像の構築も出来ます。また、光刺激専用のスキャナを有しており、生細胞の挙動観察を行いながら mSec オーダーでの時間制御で刺激光を照射することも出来ます。

本説明会では、FV1000D のシステム概略からアプリケーション例として、分光システムを利用した画像撮像例、光刺激専用スキャナを利用した実験、長時間の生細胞撮像、その他多重染色画像撮像例をご紹介します。

### 【主な仕様】

搭載レーザ: LD405, LD440, MAr( 488, 515), LD559, LD635

観察波長: 蛍光 3CH 400-800nm の任意波長検出 2CH およびフィルタ 1CH

透過 1CH DIC 像(蛍光用の励起レーザで撮像)

光刺激用レーザ波長: 405nm, 440nm, 488nm

対物レンズ: ドライレンズ 10 倍, 20 倍, 40 倍, 油浸 60 倍

### 【アプリケーション例】

- 蛍光撮像: 多重染色の共焦点観察、長時間に渡る生細胞の詳細観察
- 光刺激: フォトアクチベーション・フォトコンバージョンタンパクを利用した生細胞での挙動解析
- 画像貼り合せ: 電動ステージとの組み合わせによる組織の広範囲高解像撮像